

二本松市過疎地域持続的発展計画（案）に関するパブリック・コメント  
提出意見及び意見に対する市の考え方について

No.	項目（ページ）	提出意見	提出意見に対する考え方
1	P16（下から5行目）	住宅新築等における森林資源の利用について、「指導する」との記載があるが、市は指導する立場にあるのか。「誘導します」「広報します」等の記載としては如何か。	ご指摘いただいた箇所につきましては、「指導します」から「適切な助言を行います」に修正します。
2	P17（下から7行目）	「国際交流の推進」「新しい地域文化」といった文言が7行目と8行目からの文の双方に出てくる。内容に違いはあるのか。一つにまとめては如何か。高校・大学生の各交流に市としてどう関わるのか。また、8行目の「日本を支える」とした記載は如何か。「本市を支える」程度の表現で十分でないか。	下から7行目の「国際交流を推進し、人材育成や新しい地域文化を創造することに努めます。」の一文を削除し、下から6行目については「中学・高校・大学生を中心に地域間交流や国際交流を推進し、新しい地域文化が息づく地域社会を目指すとともに、今後の二本松市、さらには日本を支える人材育成に努めます。」に修正します。なお、本市における国際交流事業の大きな柱である市民の翼は、世界的歴史学者朝河貫一博士の縁により実施している事業であり、グローバルな視点を持つ人材育成を総合計画でも目標としているため、「日本を支える」という記載は残すこととします。
3	P21（下から5行目）	「…一帯」とした記載が数カ所あるが、特に「一帯」の記載は無くても十分に通じるのではないか。P39公園、緑地にも同様の文が出てくるが、一帯の記載は一部のみ。	「一帯」の記載は削除します。
4	P22（1行目）	「野菜や」⇒「有機野菜などの」としては如何か。特産としてい	ご指摘いただいた箇所は「地元特産品の有機野菜等の農産物を

		るのは有機野菜ではないか。野菜も農産物の一部であり、「や(助詞)」の使い方が適切ではない。	はじめ」に修正します。
5	P23 (6行目)	産業の振興の項に「過疎化が進行し地域の基幹産業である農業の後継者不足が深刻になっているため、本市において新たに農業に取り組もうとする方を支援し、定住・二地域居住を推進し過疎化の進行に歯止めをかけます。」とあるが違和感がある。P25にも同様の記載があり、「新規農業者の支援により」となっている。P25は観光・レクの項であるが記載は必要か。	ご指摘の記載は「移住・定住・地域間交流の促進、人材育成」のその他の対策(P17)に同様の記載があるため、P23およびP25に記載の箇所については削除します。
6	P23(下から6行目)	「中山間地域等直接支払制度を活用し、地域営農を進め、特色ある農業を目指します。」について、中山間地域等直接支払制度は「特色ある農業」を目指しているのか。「農業生産活動の維持を図っていく」のが目的ではないのか。	ご指摘いただいた箇所は「中山間地域等直接支払制度を活用し、集落における営農を維持するとともに、集落の活性化を図ります」に修正します。
7	P23(下から2行目)	岩代・東和地域で日本梨の生産推進しているのか。	「日本梨」を「サクランボ」と修正します。
8	P39(下から14行目)	「漕艇」を「ボート」しては如何か。一般に競技として漕艇は用いていない。「毎年全国レベルの大会を開催」とあるが、カヌー・ジャパンカップは、開催地の立候補を断念したようだがこのような記載表現で良いのか。	ご指摘いただいた「漕艇」については「ボート」に修正します。なお、「毎年全国レベルの大会を開催」については、「毎年数多くの大会を開催」に修正します。
9	P39(下から11行目)	供用から15年以上が経過した中で期待が高まっているとした表現は如何か。	「住民の憩いの場として期待も高まっていますが、」を削除します。